

大阪公立大学女性学研究センター主催 2024年度女性学コロキウム

ドイツ・ヴィルヘルム時代の セクシュアリティと政治社会

オンライン開催 (Zoom利用)
2024.11.01 FRI 13:00-15:00

講師 **水戸部由枝** 明治大学教授

時に人生を左右するほどのエネルギーを放つ、無二で多様な個人のセクシュアリティ。このセクシュアリティの領域で権力メカニズムはどのように作動するのでしょうか。本報告では、ドイツ・ヴィルヘルム時代（1890-1914）の市民社会を例に、ジェンダー秩序の生成、セクシュアリティの規範化プロセスと性規範を通じた女性の管理とその権力メカニズム、新しい性道徳の意義を明らかにすることで、セクシュアリティと政治社会の関係性を考察します。さらに現代のセクシュアリティをめぐる問題への理解・解決の糸口を示唆します。

参加費 無料

定員 オンライン50名
定員に達し次第、申込締切前であっても受付終了とさせていただきます。

申込方法 女性学研究センターWEBサイト、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

申込締切 2024年10月29日（火）17時

お問合せ先 女性学研究センター
Zoomのアドレスを10月30日（水）にお知らせいたします。この日にメールが届かない場合、10月31日（木）16時までに女性学研究センター（www.omu.ac.jp/sss/cws/）にご連絡ください。

コーディネーター：内藤葉子（大阪公立大学）

後援：JSPS 科研費若手研究(19K20584)「女性の身体性と主体性の関係をめぐるコンフリクト—帝政期ドイツ市民女性運動を中心に」(研究代表者：内藤葉子)
JSPS 科研費基盤研究C(23K11687)「公私領域の境界線を問う—政治・戦争・福祉に関わるドイツ市民女性運動の思想と実践」(研究代表者：内藤葉子)

